

令和7年度

地域とともにある学校づくり

田無第二中学校 1年生

コミュニティ・スクールの充実

西東京ふるさと探究学習

単元名：西東京地産地消プロジェクト（通称 NCP）
（活動名）

- ねらい：
- ・自身の住んでいる地域の農業を知ることによってふるさとについて深く探究し、郷土愛を育む。
 - ・地産地消をテーマに地域の農業の実態について調べることを通して、問題解決力を実践的に育む。
 - ・訪問体験を通して、自主性、責任感、コミュニケーション能力、協調性の育成を図り、社会人として必要な常識、礼儀を学ぶ。

【5月31日】 ガイダンス

学年主任より、今回のふるさと探究学習に関するガイダンスが行われました。

生徒たちは地産地消が地域の活性化につながることや、「探究学習」とは何かを学びました。



【6月6日】 事前学習①

ふるさと探究学習のために特別に編成された班ごとに分かれて、農家訪問に向けて交通経路の確認や質問事項の検討などを行いました。

生徒たちは普段の生活の中で抱いていた、地元の農業への疑問を出し合い、探究学習における課題の設定を明確にすることができました。

また、地産地消を意識し、西東京市の農作物を使った献立作りを行っていくため、栄養士の方に学校給食を作るために必要な食材量や条件を教えてくださいました。

【6月17日】 農家訪問①

農家訪問当日は暑さが厳しく、急遽公共交通機関を使っでの移動となりました。

生徒たちは自分たちの訪問先への行き方をよく把握していたことで、ほとんどの班が問題なく自身の訪問先にたどり着くことができました。



【6月17日】 農家訪問②

訪問先に到着後、農家の方々へのインタビューをしたのち、実際に農地での体験をさせていただきました。

トウモロコシの収穫やジャガイモの選別など、生徒たちは普段行うことのない活動ができたことで、非常に満足した表情を見せていました。



【7月7日】 事後学習

生活班で考えた献立を、学校公開にて発表するための準備を行いました。

模造紙を作成する係や発表原稿を考える係など、生徒たちは自分たちで役割分担を決め、自分の仕事を全うする様子が見られました。



【7月12日】 発表

学校公開に合わせて、今回のふるさと探究学習で学んだことを発表しました。

多数の保護者にご来校いただいた中で、生徒たちは自分たちが学んだことを、自信をもって発表する様子が見られました。

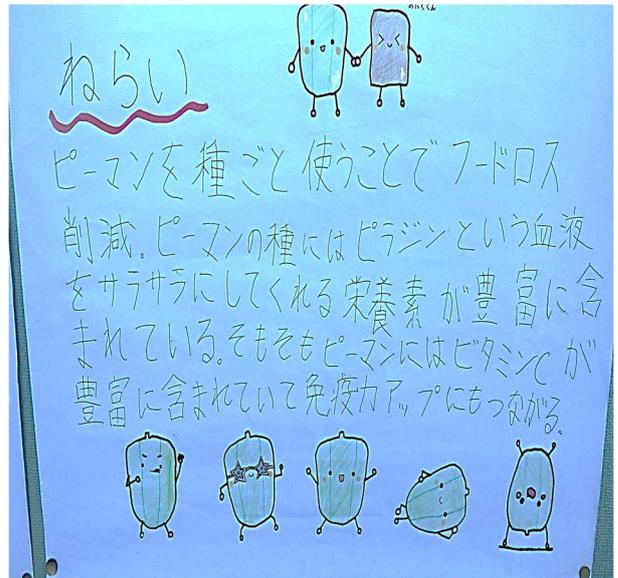


製作物①

一部ですが、発表の際に使用した模造紙を掲載いたします。



製作物②



まとめ

- ・ 今回のふるさと探究学習では、農業の意外な大変さを知ることができました。(中略) 農家さんの苦労を無駄にしないよう、これからも感謝をしながら食べ物を食べるようにしていきたいです。(生徒感想より)
- ・ 生徒たちは農業体験で地域の方々と交流した経験を通じて、西東京市に対して興味を持つことに繋がり、郷土愛が育ちました。また、班で協力して献立考案とその発表活動をしたことにより、課題解決能力を向上させることができました。

<ご協力いただいた農家の方々> (順不同)

中野様、こばやし農園様、矢ヶ崎ぶどう園様、農業体験農園向台農知園様、鈴木農園様、ファーム柳沢様、ニクラファーム様、加藤ファーム様、やすだ農園様、高田農園様、貫井農園様、秀農園様、保谷農園様、greens farm SHIMODA 様、農業体験農園「きたっばら」様